

SSKR

2023.6.No.415

# 障害児を普通学校へ

Japan Alliance for Inclusive Education

〒157-0062 東京都世田谷区南烏山 6-8-7 楽多ビル 3 F

<http://www.zenkokuren.com>

郵便振替口座 00180-0-73366 年会費 4 千円



【障害のある子の就学・入級など相談受付中！】

TEL 03-5313-7832、FAX 03-5313-8052

メール [info@zenkokuren.com](mailto:info@zenkokuren.com)

電話の時間は  
巻末の事務局カレンダーを参照

二〇二三年六月七日発行SSKR通巻第九七九六号「障害児を普通学校へ」No.415  
一九九二年四月一七日第三種郵便物認可（毎月三回七の日発行）

## 支援級からの転級希望が増えている

～ 昨年の相談から ～

東京都・運営委員 片桐健司

昨年も、たくさんの相談が全国連絡会に寄せられました。相談内容としては、就学前に、普通学校（学級）を希望しているのに特別支援学級や特別支援学校を強く勧められるというものが相変わらず多くありました。年中とか年小、あるいはもつとお子さんが小さい方からの就学先をどうしようか迷っているという相談もありました。もうひとつ多かったのは、特別支援学級にお子さんを通わせている保護者の方からの相談です。

学校（先生）の対応がよくなく、子どものことをちゃんと見てくれない（教えてくれない）、あるいは特別支援学校に行くように言われている、などです。その他、特別支援学校の対応がひどくて普通学校に転校したいという相談や、担任が子どものできないことばかりを言ってくるといった相談もありました。

そういう中で例年に比べて多かったのは、特別支援学級から普通学級へ転級したいという相談でした。入学するときには特別支援学級に入れてしまったが、他の子どもたちと一緒にの教室で学ばせたいというものです。高学年での相談もありましたが、小学校2、3年生での相談が数的には多かったです。

これについては、先の会報4月号（413号）の「相談からコーナー」にも書きましたが、特別支援学級の担任に普通学級へ行きたいと言うと、ほとんどは、「とんでもない、無理です」とあっさり断られてしまいます。それで、「何度、言っても聞いてくれませんが、どうしても断らねばならない」という相談のメールや電話が来ていました。

これも、前にも「相談からコーナー」で書いたように、担任には転級を止める権限も

転級させる権限もありません。とりあえずは校長へ、さらに教育委員会の窓口に行つて希望を言わないと話が進まないと伝えました。

保護者がそうやって動いたときに、多くの学校でとるパターンが、「それでは交流して様子を見ましょう」というやり方です。学校としては、「交流して普通学級での学習が可能なら転級してもよいですよ」というのです。これは、学習がうまくいかなかったら転級させないということの裏返しで、結局はできないことの方が多しと「転級は無理です」という結論を出して話を止めたり、「交流時間をもう少し増やして様子を見ましょう」などとずっと交流を続けて結論を出さないままにしてしまったり、という例が多いです。

転級するのは、何かができるようになったからではなく、当たり前前にもみんなと一緒にいいからだということを強調して「交流はいいから、○年になったら（○学期になったら）転級します」と期限を切つて、希望を強く言うようにと勧めてきました。

転級の話を進める段階で教育委員会の就学相談にかけるように言われるところもあります。ここは、できる・できないで子どもを「判定」するところですから、話がそこで止まってしまうことが予想されます。就学のときに苦労したから、二度と就学指導委員会にはかかりたくないと思つている方も多いかと思いますが、まずは就学相談ははっきり断るか、それが通らないなら相談を受けてもその判定結果には従わないことが大切です。昨年は、特別支援学級判定が出た子に対して、判定が出たのだからと転級をなかなか認めようとしていないことがありました。そこで、全国連絡会も関わつて学校、教育委員会に障害者基本法の「本人・保護者の意向尊重」をしない

のは法令違反だと伝え、転級を認めさせました。このときは、その子の学校が学区域外だったため、普通学級に移りたいなら学区域の学校に転校しなければいけないと、ある種の意地悪をされましたが、本来の学区の学校がいいと、その子は転校して新年度から普通学級に通っています。

このように、最後までがんばればなんとか転級できますが、転級希望を担任に伝えることから転級実現まで、2年、3年とかかつてしまうことが多く、今も相談が続いている方も多しです。これらの相談も、なんとか保護者と協力しながら良い方向にもつていけたらと思っています。

